

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：和東町

プロジェクト名	和東町「ポストお茶の京都」推進プロジェクト	実施期間	平成30年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>和東町は、少子高齢化や若年層の転出等で人口が毎年100人程度減少しており、このままでは和東町全体が限界集落に近い状況になることが予想される。</p> <p>それを防ぐためにも、交流人口の増加やそれによる雇用創出をより一層図るとともに、住民との協働によるまちづくりを進めて定住人口の維持あるいは増加に繋げていく施策が必要とされている。</p> <p>また、本町の基幹産業である「お茶」は、生産量、生産額とも府内一という実績であるが、山間部という地形から機械化が図れず、生産規模拡大が進まない状況にある。茶農家の高齢化も進んでおり、茶畑の維持が困難となった結果、管理放棄された荒廃茶園も見受けられる。さらに近年、「お茶」の販売価格も伸び悩んでおり、知名度の向上や品質の向上はもちろん、茶農家の担い手育成などへの積極的な取り組みが必要とされている。</p> <p>昨年度、京都府と連携しながら取り組んだ「お茶の京都」を引き続きPRしていくことにより「宇治茶の主産地 和東」の知名度向上につなげていき、「和東茶」「茶源郷和東」のブランド力向上を図る。</p> <p>加えて、ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けて盛り上がりが見込まれる中、「茶源郷和東」の知名度を国内だけでなく海外においてもさらに高め、地域資源である生業景観を観光客誘致に活用するなどした、交流人口の増大による町の活性化が求められている。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「和東茶」や「茶畑景観」を活用した取組、「日本で最も美しい村」連合による取組、さらには宇治茶の「世界文化遺産登録」に向けた動きを活用し、交流人口の増加を図るとともに、地域ブランドの確立及び知名度の向上を図る。 ・そのために、和東町と住民、近隣市町村や大学連携等が一体となったまちづくりを進め、町のさらなる活性化を図る。 ・「お茶の京都」の取り組みを引き続き進めていくことにより「宇治茶の主産地 和東」としての知名度を上げ、町内の基幹産業であるお茶の消費拡大・雇用拡大などを図り、茶の生産拡大や担い手の増加などを図る。 ・ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に向けて準備を進める。 						
	総事業費（千円）	19,367	本年度事業費（千円）	19,367	交付金額（千円）	6,292	
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	お茶の京都PR推進事業	交付対象事業	「お茶の京都」を次世代につなぐため、中学生が主体のお茶会を実施する	町外から10校77名が参加し、お茶を通じて中学生年代の交流促進につながった			
	茶源郷和東PR推進事業	交付対象事業	町のPRに取り組む「PR大使」の活動を支援する	各種イベント等でPR大使が特製名刺を配布することで、和東町の知名度向上につながった			
	観光案内所情報発信推進事業	交付対象事業	周遊観光や観光情報、茶源郷和東の魅力発信の拠点としての機能を強化する	来場者数：6,346人			
	「日本で最も美しい村」連合事業	交付対象事業	NPO法人「日本で最も美しい村」連合活動費	総会等への出席に加え、当町最大のイベントである茶源郷まつりにて、近畿中国四国ブロックの特産品販売ブースを設けるなど加盟町村間の交流を強化した。			
	ワールドマスターズゲームズ開催環境整備推進事業	交付対象事業	ワールドマスターズゲームズ2021開催に向けて、開催準備を進める	CJ2大会参加者数：110人、エンデューロ大会：310人			
	和東茶を活かした新産業創出事業	交付対象事業	和東茶を活用した新産業を創出することでお茶の付加価値をさらに高めるとともに、産業の創出を図る	ハーブ栽培とお茶を掛け合わせた商品の開発を行うなど、これまでにない商品開発等が進んだ			
住民協働 事業	和東町・早稲田大学協働10周年記念事業	交付対象事業	早稲田大学との協働10周年を記念した式典や講演会等を実施する	記念講演参加者数：100名			
	茶源郷和東の生業景観を活かしたまちづくり事業	交付対象事業	茶源郷和東の生業景観を重要な文化的景観に登録するための、基礎研究等を実施する	次年度以降の選定作業に向けて、必要な調査を実施した			
	縁側カフェ事業	交付対象事業	民家等のトイレを貸し出すことでおもてなし環境を充実するとともに、地域住民との交流を図る	7施設で延べ3,854人の利用があり、快適な観光環境の提供につながった			
住民が 取り組む 事業	和東町協働のまちづくり補助金事業	交付対象事業	地域住民によるまちづくり活動に対して補助を行う	4団体に補助金を交付し、健康増進イベントや休耕農地の活用等地域活性化につながった			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：和東町

成果指標①	成果指標の目標数値	■ 人口動態 H29 4,026人 → H30 維持		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	3,937人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	交流人口の拡大が移住につなげきれなかったことに加え、転出超過による社会減が大きく働いた	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	■ 交流人口 H29 152,984人 → H30 180,000人		成果指標の実績値 (30年12月31日時点)	178,543人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標値にほぼ到達しており、かつ前年（152,984人）からも順調に増加している	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>お茶会の実施やマウンテンバイクイベントの実施など幅広いイベント等の実施に加え、緑側カフェ等の観光環境の整備により交流人口の拡大につながったと考えられる。地域活性化の補助金についても、これまで以上に移住定住の促進につながるような取り組みに対して支援を行っていくことで、人口動態の減少に歯止めをかけられた。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	・ フォトスケッチコンテストの開催により、住民の郷土愛の醸成につながり、町外の方へのPRにもつながった。			
	府と市町村等との連携に資する成果	・ 「お茶の京都」を次世代につなげる取り組みを行い、茶業の発展につなげるとともに、山城地域を中心に府が世界遺産への登録を目指している「宇治茶」ブランドの価値の向上につながった。			
	住民の自治意識を高める成果	遊休農地の活用や健康増進イベントなど地域の課題に対して、地域住民自ら解決するための取り組みが進んだことで自治意識の向上につながった。			
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茶源郷まつりをはじめとして、地元商工会のイベントなどにも多くの来場者があり、「茶源郷和東」のPRにつながった。 ・ 「日本で最も美しい村連合」の活動により、全国に「茶源郷和東」をPRすることができた。 			
	行財政改革に資する成果				
	その他の成果				

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。